

楽 楽


<http://www.asahikonsei.com/>

◆ 練習スケジュール ◆

月／日		会 場	時 間	備 考
2 月	25 日 (土)	旭丘公民館	19:00～21:00	
3 月	3 日 (土)	〃	〃	
	10 日 (土)	〃	〃	
	17 日 (土)	〃	〃	
	24 日 (土)	中央公民館軽音楽室 1	〃	
	31 日 (土)	旭丘公民館	〃	
4 月	7 日 (土)	〃	〃	
	14 日 (土)	〃	〃	
	21 日 (土)	〃	〃	
	28 日 (土)	〃	〃	
5 月	5 日 (土)	連休につきお休み		
	12 日 (土)	旭丘公民館	19:00～21:00	
	19 日 (土)	〃	〃	
	26 日 (土)	〃	〃	

★役員会報告 (実施：H24 年 2 月 11 日)

《出席者》合瀬団長、松本副団長、早澤相談役 (PL)、須田技術委員長、松本渉外委員長、藤田 (ホームページ担当)、酒井 (広報担当・PL)、S 中沢 (PM)、A 後藤 (PL)、T 梅村 (PM)、B 林 (PM)

◎議題

1) 合唱連盟への継続参加の検討 ・実績：2011 年で連続 5 回参加の表彰をされました。

参加費用 (参考資料) (単位：円)			
連盟費	雑誌代	合 計	団員一人当り
15,000	27,280	42,280	961

○委員からの意見 (要約)

- ①この地区だけでの活動では、井の中の蛙となって団の発展が出来ない。他の合唱団の演奏を聴くことにより刺激を受けてレベルが上がる。
- ②合唱祭への参加は、団が客観的に評価され、自分たちのレベルが正確につかめる。また知名度を上げて、将来、名古屋での演奏会なども実現できる要素が出てくる。
- ③合唱連盟に加入してもそのメリットが活かしていない。例えば合唱祭で他の合唱団の演奏を十分聴いていない。また配布されている雑誌の記事などが十分活用されていない。

等の意見が出たが、最終的に、役員会として、継続参加という意見でまとまった。団員に意見を聞いて、最終的に団としての方針とすることになった。

練習後の意見聴取にて団員にはかり、参加継続で合意された。

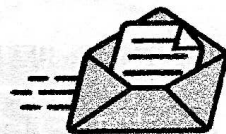
2) その他

県合唱連盟の「ヴォーカルアンサンブルコンテスト」が、4 月 15 日 (日)、AM:10:15～名古屋／白川ホールにて開催されます。入場料 700 円です。

旭混声合唱団も出場資格はありますが、本年は見送ることになりました。

以上

旭混声元団員から演奏会の感想が寄せられました



合瀬団長が元団員の加藤太郎さんへ先の演奏会のDVDを送ったところ、感想文を寄せていただきました。参考にさせていただきたく以下に掲載いたします。

▼ようやく、全て聴かせて(見させて?) 頂きましたのでコメントいたします。まずは、良寛相聞ですが暗譜で良くまとめられたものと感心いたしました。また、音程も良く、皆さんの表情からも集中力が感じられ、とても好感の持てるステージだと思います。しかしながら、i 母音・e 母音の発声が薄っぺらく聞こえ(これは全体的に言えます) 特にロングトーンで残念な音色となっています。また、高音部と低音部で発声のポジションを変えるため、フレーズの途中で音色が変わる為、もったいないなと思いました。更に、ff の時明らかに力が入りすぎて力んでいる方が何人か見受けられ、根本的に発声を見直す必要があると思います(その方々はという意味です)

▼次に、近代日本名歌抄ですが、全体的な印象はまとまりがあつてとても良かったです。特に一曲目の出だしはとても良く響いており、素敵でした。残念なところは、相変わらず i 母音・e 母音の浅さが際だっており、また pp の響きはなおざりな感じの手を抜いたような発声で、音楽的に鳴っておりませんでした。テノールはとても良い部分もありましたが、混声4部時の中声部において、音程の怪しいところもあり、練習が足りないのかな? といった感じを持ちました。ソプラノのソロは雰囲気があつてとても素敵でした。

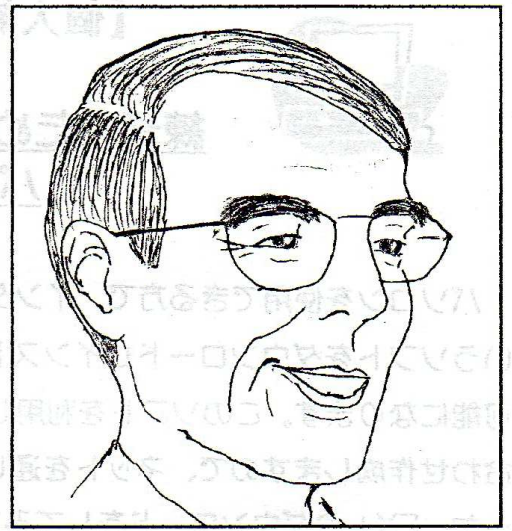
▼そして、ネーニエですが、これは残念ながら全体的な印象はまだまだ力不足で不完全燃焼と感じました。まず、ドイツ語ですが子音が全然聞こえないので、ドイツ語に聞こえません。テキストリーディングをもっとすべきだと思いました。また、歌うのに精一杯な感じが否めず、ダイナミクスやフレーズ感の希薄なのっぺりした歌になっておりました。音程、リズムとも甘く、また、パートごとにテーマが移り変わるときに他のパートが主題を歌うパートを意識していないため、主題を歌うパートに主役を譲るというような配慮があればもっと音楽的だったかなと感じました。木管アンサンブルはとても素敵で、良いアイデアだったと思いますし、今度まねしてみたいです(笑)。まあ、ネーニエは難しい曲だと思いますので、それを考慮すれば頑張ったと思いますが、敢えて厳しめのコメントをさせて頂きました、悪しからずお許し下さい。

▼最後に、全体的には、音程もしっかりしているし、殆ど暗譜で良く訓練されており、皆さんの集中力も申し分なく、素敵な表情で歌ってらっしゃる姿はそれだけで素晴らしく、大成功の演奏会だったとご推察致します。私が現在所属し、パートリーダーをさせて頂いている、伊藤忠商事東京コーラス部も発声やリズムにまとまりがない課題の多いコーラスであるだけに、皆さんの渾身のこの演奏は大変参考になりました。長いコメントになりましたが、改めて、このような録音をお送り頂きありがとうございます。懐かしい皆様のお顔をじっくり眺めながら、感心したり、突っ込んだりしながら(笑) 楽しい時間を過ごせました。心から御礼申し上げます。(以上、原文のまま)

(注) 現在、加藤太郎さんは東京在住で、旭混声ではテノールとして一時期在籍されました。

★突撃インタビュー★

**12月に入団されましたベースの近藤勉太郎さんです。
見学期間なしで即入団してくださいました。
たいへん多趣味の方、とうかがっていましたが、噂とおり！
人生を思う存分楽しんでいらっしゃるお姿が素敵です。**



《自己紹介をお願いします》

戦中生まれです。理科系会社員でふつうに勤務し8年前に退職後、名古屋市に居住。それ以後趣味ざんまいです。

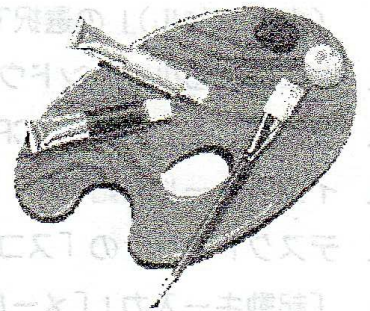
《趣味、特技、続けていらっしゃる事など教えてくださいな》

在職中の趣味は登山、退職後 水彩画、油彩画、テニス、パソコン、合唱等で今も継続中です。退職後にも色々始めて、それぞれにはまって、日々是好日。

うららかな日に、花咲く山野を歌いながら歩き、気に入った所でコーヒーを飲みながら絵を描く・・・至福の時間であります。何もなくてもいい、何をしてもいい、今この時間と空間をありがたく、又大事にしたいと思っています。

《お心に残っている思い出、旅行先など教えてください》

1週間ほど車であてのない一人旅です。テントや絵道具を積み車中泊で山歩きとスケッチを楽しみます。



《合唱のご経験は？》

友人の合唱コンサートを聞いて歌ってみたいくなり、5年前名古屋市の第九に応募しましたが、抽選で落選し、尾張旭市民合唱団に入団。歌う楽しさを感じております。

《ご入団のきっかけは？》

お誘いいただいて。

《団へひとこと！》

合唱は市民合唱団しか経験がありません。今回混声に入団して、指導方法の違いや団の雰囲気の違いを新鮮に感じています。よろしくお願いいたします。

《WEB ページもお持ちの近藤さん。素敵な絵画やフォト作品がアップされていますよ。ぜひご覧になって下さい。 URL・ <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/kotaro6483/> (*^_^*) A植村》



練習のためのツールを紹介します

パソコンを助っ人に見てもらいませんか！

パソコンを使用できる方で、インターネット接続環境がある方は、カワイの「スコアプレーヤーFX」というソフトをダウンロードしインストールできれば、楽譜を見ながら音取り等の個人的な練習での活用が可能になります。このソフトを利用して練習する曲の楽譜ファイル（SDX ファイル）は、旭混声の練習に合わせ作成しますので、ネットを通して皆さんに提供できます。興味と関心のある方は一度「スコアプレーヤーFX」のダウンロードをしてみては如何でしょうか。すでに、一部のパートリーダーの皆さんにはお試しいただいていますので、ご不明な点は気軽にお尋ねいただければと思います。

（B 早澤さん、松本さん、T 酒井、A 後藤さん、植村さん、S 須田さんは既に使用経験された方々です）

以下にソフトのダウンロードの手順及び活用のメリットを要約し記載しておきます。

◎「カワイ/スコアプレーヤーFX」（フリーソフト：無料） ダウンロード or インストール手順

1. 「KAWAI スコアプレーヤーFX」のダウンロードサイトを開く。（サイトは以下のアドレスです）
<http://www.kawai.co.jp/cmusic/download/spfx.htm>
2. 画面で「ダウンロード」をクリックする。
3. 小ウィンドウ（ファイルのダウンロード—セキュリティ警告）画面が現われるので、「（実行）（保存）（キャンセル）」の選択で、「保存」を選択しクリックする。
4. 次に現れる小ウィンドウで、保存先に「デスクトップ」を選択し、ダウンロードする。
5. デスクトップ上の「SCPF6.0.013Setup」アイコンをダブルクリックし、「実行」を選択する。
6. インストール開始 → 完了 ※デスクトップにショートカットアイコンが作成される。
7. デスクトップ上の「スコアプレーヤーFX」アイコンをクリックし起動する。
8. 「起動キー入力」「メールアドレス」を入力するための、小ウィンドウが現われる。
9. 「メールアドレス」のみを入力して（若干のアンケートを記入し）送信する。
10. メール受信にて、カワイコンピュータミュージックより即返信があり「起動キー」が送られてくる。
11. スコアプレーヤーFX（起動済画面）にて「起動キー」を入力すれば、使用できるようになる。
12. 以降、「起動キー」の入力は必要ありません。

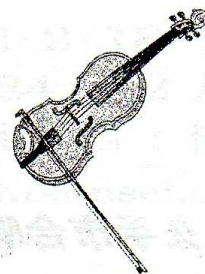
◎ スコアプレーヤーFXを使って、楽譜（SDX ファイル）を演奏できる（主な機能は以下の通りです）

1. 演奏個所を楽譜上（画面上）で見て確認しながら聴くことが出来る。（パートの音取り練習や全パートの音楽の流れ、ハーモニーを掴むなど、個人的な練習に便利です）
1. 演奏速度を変更できる。（必要に応じ、テンポを落としてゆっくりと聴くことが出来る）
1. パート単独演奏、全パート混合演奏、強調したいパート以外のパート音量を減じて演奏できる。
1. 特定の範囲を繰り返し演奏させることが可能。（難しく覚えていた箇所を繰り返すのに便利）
1. 楽譜ページ画面を拡大・縮小も可能、また、ページを上下に移動のほか、楽譜（五線）を横に連続して移動させ演奏が可能なので、視覚的にもとらえやすい。 など。

<情報提供：T 酒井>



【おせっかい豆辞典】



◆ 「パレストリーナ (Giovanni Pierluigi da Palestrina)」 ◆

作曲家パレストリーナ(1525年?～1594年)は、ジョスカン・デ・プレ(1521没)後にネーデルランド楽派に代わって活躍し、「教会音楽の父」と称され、バッハ以前の優れたイタリアの音楽家とされています。パレストリーナが生まれたのは、ローマ近郊の《パレストリーナ》という土地で、この《パレストリーナ》はローマとともにイタリア中部のラツィオ州に属しています。因みに、このラツィオ州は古くは“ラティウム”と呼ばれラテン語発祥の地とされています。

旭混声では、「パレストリーナ」さんの合唱曲は『Sicut cervus desiderat(谷川の水を求める鹿のように)』以来2度目の遭遇ではないでしょうか。

「パレストリーナ」さんが活躍した1560年を中心とする何年かは、カトリックの教会音楽にとってはとりわけ重要な時期であったようです。

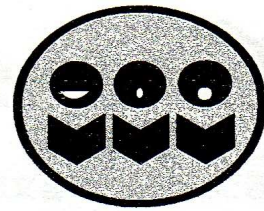
かの宗教改革とそれに続くヨーロッパ諸国の離反や喪失によって、カトリック内に危機感が広まり、それによって内部から改革を促す機運がルターやカルバンの宗教改革に対する“対抗改革(反宗教改革)”となり、教会から従来の悪弊と放縦を追放し、伝統的な宗教的権威を守ろうとする動きに収れんされ、1545年、教皇パウルス3世がイタリア北部の“トリエント(イタリア名＝トレント)”においてカトリックの教義等の検討のための公会議を招集し、それから18年の年月をかけていわゆる“トリエント公会議”の決定を見たことになっています。元々“公会議”の開催を要求していたのは“マルティン・ルター”であったとされていますが、結局は、「聖書」のみを聖典とするプロテスタントに対抗する指針として「聖書」と「聖伝＝秘蹟」を“教えのよりどころ”とする教義の根本とそれに伴う新たな施策を公に承認しました。

教会音楽についても世俗的な傾向への反発や言葉の理解を困難にするとしてポリフォニー(多声音楽)様式にも批判があり、ホモホニー(和声音楽)が支持されたようです。そんな中、「パレストリーナ」さんはポリフォニーの様式が決して敬虔な精神と両立しえないものでなく、また必ずしも詩の理解を妨げるものでないとして、世俗的な匂いを感じさせないポリフォニーによる優れた作品を世に出し、むしろその中に“対抗改革(反宗教改革)”の厳粛で保守的な本質をよく捉えていると感じさせるものがあるようです。同時代の作曲家が新しい表現手段としていた半音階的手法を「世俗的な要素」として、導入することを避けていたようですが、それでも他のどの作曲家の音楽も比肩することの出来ない一貫した清澄さと透明さに加えて縦の響きによって特別の色彩的効果・劇的効果をもたらしているようです。

「パレストリーナ」さんの音楽は、“ルネッサンスの多声音楽の成果を要約している”とされていますが、ものの本によれば、いくつかの点では“ルネッサンス”以前の中世的な神秘思想の表現である“ということです。そう言われてみれば、神秘的な気がしませんか？

100曲以上のミサ曲、250以上のモテトなど多くの教会音楽を作曲した「パレストリーナ」さんも皮肉なことに、厳格な教皇パウルス4世によって、“既婚者”であるとして教義上の理由から教皇庁のジュリア礼拝堂楽長の地位を一度は解雇されるという憂き目にあっているようですが、戦闘的で保守的・内向的な対抗改革(反宗教改革)の荒波にもまれた一人だったようですね。(T 林)

イベント情報



長久手市合唱団

ニューセンチュリー コーラス Nagakute

第14回定期演奏会

○日 時：2012年2月26日（日） 午後2時開演（午後1時30分開場）

○場 所：長久手市文化の家 森のホール（TEL 0561-61-3411）

○入場料：前売り 一般：1000円 フレンズ会員：800円

当 日 一般・フレンズ会員：1200円

ソプラノ：松波 千津子 アルト：三輪 陽子 テノール：山田 正文 バス：津國 直樹

愛知室内オーケストラ オルガン：野々山雅子

指 揮：田辺 正彦 ピアノ：野々山 雅子 服部 響子

《プログラム》

I. 二つの宗教曲 P. Casals, G. Rossini

II. 混声合唱・ヴァイオリン・ピアノのための

「ヴィヴァルディが見た日本の四季」 編曲 信長 貴富

III. 混声合唱とピアノのための

「赤い鳥小鳥 -北原白秋童謡詩集-」 編曲 信長 貴富 作詞 北原 白秋

IV. Messe in C-Dur (D. 452-op. 48) 作曲 F. Schudert

■ 編集後記 ■

立春が過ぎ、明日19日が雨水、その後3月5日の啓蟄と、春分まではまだ寒い日が続きますね。それでも春の風は

袖ひちて むすびし水のこほれるを

春立つけふの 風やとくらむ — 紀貫之 —

とあるように少しずつ暖かさを運んで来てくれます。

「東風」「春一番」「雪解風」「花風」・・・と名前を聞くだけで、なんだか心にまで春風が吹いてくる気がします。縮こまっていた体を少し伸ばしてみませんか。この冬はほんとうに寒かったですね。

まだまだ雪や寒さと闘っておられる日本中、世界中の人々にはやく、はやくとどけ、春の風。

(A・植村)